

# PPI

パワーアップ  
プラクティス講座Ⅰ

南大阪地域大学コンソーシアム

平成 28 年度 単位互換  
センター科目

2泊3日集中講座

## 「キャリアと社会」

社会の中で自分を生きる方法

テーマ

「関空の利用客をどう泉州に連れてくるか」

社会人として求められている、“大切なチカラ”、それは「論理力」「プレゼンテーション能力」「主体性」「課題発見・解決能力」。

この講座では、グループ学習や、関空でのフィールドワークなどを通じて、これらの全てを身に付けることをめざします。

また、多彩なコメンテーターや、他大学の学生さんたちとの、すばらしい出会いの場があります。

この3日間で、あなたも、学び、考え、行動する人になりませんか？ あなたの企画提案が、実際に採用されるかも！？

普段と違う環境でグループ学習やフィールドワークをしてみませんか。  
(部屋割は事務局で作成します)

受講定員 72名  
参加者募集中！  
※申込締切後に、選考を行います。

!!

この講座は南大阪地域大学コンソーシアムの単位互換制度の「センター科目」です。評価に応じて、所属大学で単位が認定されます。

- 幹事 校：羽衣国際大学
- センター科目名：「キャリアと社会」-社会の中で自分を生きる方法- 2単位
- 期間：平成 28 年 9 月 6 日（火）・7 日（水）・8 日（木）
- 場所：ホテル日航関西空港
- 参加費：29,500 円（宿泊 2 泊、朝・夕食各 2 回が含まれます。）※昼食は各自別途負担となります。
- 締切日：平成 28 年 7 月 15 日（金）
- 申込み方法：所属大学の教務課（学務課）の窓口担当者にお申込み下さい。参加費支払い方法に関しては申込時に窓口担当者にお尋ね下さい。（入金されたものについては払い戻しはいたしません）
- 参加条件：南大阪地域大学コンソーシアム単位互換制度参加大学の学生  
(大阪大谷大学、大阪芸術大学、大阪女子短期大学、大阪府立大学、関西福祉科学大学、近畿大学生物理工学部、高野山大学、清風情報工科学院、帝塚山学院大学、羽衣国際大学、阪南大学、プール学院大学、プール学院大学短期大学部、桃山学院大学、和歌山大学、教育ネットワーク中国単位互換参加校、キャンパス・コンソーシアム函館単位互換参加校)
- テーマ協力者：関西エアポート株式会社、泉州観光プロモーション推進協議会

\* 講座の詳しいお問い合わせは、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム事務局へ  
〒591-8025 大阪府堺市北区長曽根町 130-42 さかい新事業創造センター 1F

TEL 072-258-7646 FAX 072-258-7641 URL [www.osaka-unicon.org](http://www.osaka-unicon.org)

協力：関西エアポート株式会社、泉州観光プロモーション推進協議会、ホテル日航関西空港

南大阪地域大学コンソーシアム  
平成28年度 単位互換  
センター科目

2泊3日集中講座

# 「キャリアと社会」

社会の中で自分を生かす方法

## 講座プログラム

1 日目 9/6 (火)		2 日目 9/7 (水)		3 日目 9/8 (木)	
受付開始、出欠確認 (9:30)		(9:00)		(9:00)	
開講挨拶 講師紹介		ワーク「企画書をつくろう!②」 ・グループごとに課題・テーマに従って前日の続きで企画シートを最後まで作ってみる		ワーク「リハーサルへむけた仕上げ」 ・企画、プレゼンテーションの内容をブラッシュアップ	
オリエンテーション リーダー決め、グループ決め ミッション提示		ワーク「企画書中間報告」 ・チーム同士で企画の中間報告 企画書練り直し		リハーサル	
昼食					
宿題の共有 関空の徹底分析 ワーク「切り口から企画提案の視点、方向性を明確化し、テーマを決めよう!」 講義①「論拠を示そう!」		関空関係者への質問コーナー フィールドワーク 企画書づくり 講義④「効果的なプレゼンテーションをしよう!」 ワーク「企画書から PowerPoint のプレゼンテーション用の資料を作成しよう!」		最終プレゼンテーション  !!	
講義②「フィールドワークに出よう!」 フィールドワーク ・切り口やテーマを実地にて確認してくる。 テーマ発表「企画書のテーマを発表しよう!」		中間プレゼンテーション  !!		振り返り	審査会
夕食				全体講評 審査結果発表 修了式 写真撮影、交流会	
講義③「企画書を作ろう!」		ワーク「企画のブラッシュアップ」			
ワーク「企画書をつくろう!①」 ・企画シートの提案、工夫を考える。					
振り返り		振り返り			

※プログラムは予定です。変更となる場合がございます。

### 学生の声

- こんなに必死で協働したことはないってくらいがんばることができた。
- 物事を考え、それが相手に少しでも伝わったときの達成感を知った。
- 私にとって、とても忘れられないチームに出会えてよかった。
- グループで課題に取り組むときの自分の役割の果たし方や、最後まであきらめないでやり遂げる大切さを学んだ。
- 単なる思いつきだけでなく重要なのはその裏付けだということを学んだので、実際にプレゼンや論文の作成の際に生かしたい。

### 指導教員

森本 和義(羽衣国際大学 現代社会学部 教授)  
小川 雅司(羽衣国際大学 現代社会学部 准教授)  
河野 清志(大阪大谷大学 教育学部 講師)  
深野 政之(大阪府立大学 高等教育推進部門 准教授)  
森本 壮亮(桃山学院大学 経済学部 講師)  
木村 亮介(和歌山大学 協働教育センター 講師)